一身田の新聞

発行
一身田地区
社会福祉協議会

編集者
岡本博和

一身田地区の諸問題について語る

一身田地区自治会連合会会長　一身田地区社会福祉協議会会長

平成29年度が始動して四半期が過ぎた。一身田地区が抱える自治や福祉、環境、美化、防災、防犯、などなどの問題は多岐にわたる。一身田地区連合会会長の望木氏と一身田地区社会福祉協議会会長の水谷氏に安心・安全な街づくりについての抱負を伺った。（聞き手は編集委員の中尾、細川、米川、岡本）

◇今後の優先課題は

―望木氏

小学校の砂ぼこり対策である。近隣の住民にとっては四十年来の悲願でもある。昨年度、その対策として市より『飛散しにくい砂』を敷いてもらった。多少の効果は見られた。最終的には校庭の芝生化であるが、遊具付近などから効果をみながらやってみてはどうか。関係者と意見交換をする予定である。

―水谷氏

高田本山から一身田小へ続く道路の拡幅問題である。交通量が多いにもかかわらず道路幅が狭い。抜本的に解決するには時間が必要であり、当面の対策として側溝に蓋をしてはどうかと考えている。

◇防災への取り組みは

―望木氏

中区自治会の岡野自治会長を中心に津市の研修会などに参加したり、津市防災室の指導を得ながら、各自治会で避難訓練を実施したりし、迫りくる巨大地震に備えていきたい。

―水谷氏

秋ごろに初めての試みであるが、『炊き出し訓練』を予定している。また、尾鷲市防災センターを視察し、この地区の防災のあり方について学んできたいと考えている。

◇防犯への取り組みは

―望木氏

一身田地区でも様々な犯罪が起こっていることからも、街路灯のLED化を進めていく。また、防犯カメラの設置も有効と考えているが、映像管理などの課題もあり、時間をかけて検討していきたい。

◇文化・スポーツの振興は

―水谷氏

一身田地区では、町民球技大会や町民運動会、グランドゴルフ大会、盆踊り大会、凧揚げ大会などを実施している。幅広い年齢層の方々が参加していただけるよう呼びかけていきたい。

また、文化的な活動としては、自治会の組織である『フラワー委員会』が一身田小や一身田中、地区の公共施設などに花を植える取り組みを行っている。また、寄せ植え研修や先進的な取り組みを行っている地域への視察、寺内町を中心にした「夏のおもてなし」としてのスイレンの栽培など、潤いのある町づくりにむけ支援している。

安心・安全な街づくりを　左より水谷・望木・福田の各氏

◇環境問題への対応は

―望木氏

ここ数年、志登茂団地住民を悩ませてきたカワウは、住民と市との協働で解決の方向に近づいている。また、平野地区ではアライグマの捕獲を行うなどの対策を進めている。

―水谷氏

見当山に生息するイノシシへの対策として、見当山周辺の自治会で『環見当山獣害対策委員会』を立ち上げ、猟友会の協力を得ながら取り組んでいる。昨年度だけでも十五頭のイノシシを捕獲した。今後も、この委員会を中心に取り組みを進めていきたい。

◇一身田地区の観光は

―望木氏

この地区の活性化の一つは「観光」である。津市から景観計画の重点地区として認定第一号を受けており、また津市の文化財の約半数がこの地区にあるなどから観光発展の要素がある。市長も「ちょこっと観光」としての一身田に期待している。今後は高田本山や関係団体と共に外国人誘致にも力を入れ、地域住民が外国語で挨拶ができるよう冊子が配布できればいいと思っている。

◇

二時間ほど話を伺った。この他にも様々な課題や問題点も話題となった。こうした課題に対し、地区住民でできること、津市と連携し取り組みことなどに分け、安全で安心な町づくりにまい進したいものである。

自治会連合会会長、地区社協会長に聞く
地域懇談会　一小の駐車場増設を要望
みんなの便り　民児協会長「免許証の自主返納について」投稿

市長との直接対話

4回目の地域懇談会開催

一身田地区では4回目、全市では118回目の地域懇談会

一小PTA　駐車場や運動場トイレの改善を要望

5月28日(日)、一身田公民館会議室で「第4回一身田地区地域懇談会」が開催された。この懇談会は前葉市長肝いりの施策で、直接市長と地域住民との対話集会で、市内全域で、これまで117回行われている。

一小PTAからは、学校の駐車スペースが少ない。校舎北側を有効利用すればかなりの台数が確保できる。是非、検討してほしいとの要望があった。また、校庭西側のトイレは老朽化が甚だしく、しかも、外から見える。改善してほしいとの要望が出された。

このことに対し市長は「駐車場の件については考える。軽自動車ならば20台くらい置けそうだ」トイレに関しては、「一身田小学校だけでなく他校からも同様の要望が届いている。少し時間を下さい」と述べた。

会場からは、一小の『飛びにくい砂』について、詳しい調査を行い、そのデータを教えてほしいとの意見がでた。

危い！

一身田の交通事故

昨年一年間で75件も発生

戦禍を免れた一身田寺内町やその周辺は道路が狭く、しかも見通しが悪い。高田本山唐門前から一身田小学校前の道路や一身田郵便局前のT字路(変則交差点)では、譲り合いの気持ちがなければ対向するのも難儀である。また、岩崎病院の交差点では優先道路はどちらかは地元民でなければ分からない。

一身田交番管轄(一身田・白塚・栗真・大里・河辺地区)内の平成28年(1月1日～12月31日)一身田地区での交通事故件数は、物損事故70件、人身事故5件が発生している。

最も事故件数が多いのは第三銀行前の信号のある交差点付近で6件、二番目は岩崎病院から中野に抜ける二百石橋北詰付近で5件、三番目は一身田郵便局前で4件、この付近がワースト3である。第三銀行前の交差点では右左折事故と追突事故、二百石北詰と郵便局前では見通しの悪さと狭路で接触事故(物損事故)が多発。その他、衣料スーパーや食品スーパーからの出入口での事故も複数件起きている。

何故このような場所で事故が多いかについて、津警察署交通第一課の間部さんは、「無理な運転」を挙げる。右折、左折を無理に行う、急いで通過しようと前を見ずに追突事故を起こすケースが多いと云う。「事故を防ぐにはマナーアップが第一。もう一度初めて免許を取った時を思い出して下さい」と訴える。

三重県警が交通死亡事故抑止のため、シルバー対策(高齢者の交通事故防止)、シートベルト(シートベルトの着用促進)、サケ(飲酒運転根絶)、スピード(速度抑制)の『重点4S対策』を推進する。また、7月11日(火)～20日(木)まで「夏の交通安全県民運動」を行う。思いやり、優しい心での運転をお願いする。

一身田交通事故多発場所ワースト3

上より　豊野方面と伊勢別街道交差点
団地から中野方面に抜ける二百石橋北詰付近
郵便局前のT字路

さあ！夏

祭りもスポーツも文化活動もいっぱい

暑い夏はまもなく。一身田では盛りだくさんのイベントが開催される。34回目の「一身田七夕まつり」は、手作りゲームや自衛隊なりすまし撮影会が見もの。また、この日に津クイーンによる七夕撮影会も行われる予定。「暑い夏に熱い祭りに是非参加してください」と七夕まつり実行委員長の岡裕貴さんは呼びかける

◇

一身田盆踊り大会は記録に残っているだけでも100回を超える歴史ある催事である。行燈コンクール、折り鶴コンクールも見ものだ。

願いがかなえられますように

予備日は8月13日

月　日	イベント名	場　所
7月　8日	一身田七夕まつり	寺内町
7月22日	グランドゴルフ大会	一小グランド
7月27・28日	歴史体験塾	本山・寺内町
8月2日・4日・5日	子ども体験教室	公民館
8月12日	盆踊り大会	本山境内

みんなの便り

校門前の築山の石碑「さとく　やさしく　たくましく」

一身田中学校長に着任して

横山徳浩

この4月に赴任しました校長の横山徳浩です。平成26年度まで教頭として本校に勤務しておりましたので、2年ぶりに再度お世話になることになりました。

本年度も学校教育目標を、「さとく、やさしく、たくましく生きる生徒の育成」としました。

○確かな学力の定着と向上を図る学校(さとく)○自分や他者を大切にし、安心・安全で居場所のある学校(やさしく) ○地域に根ざした人を育てる学校(たくましく)

3年前より、「学び合い」の授業を推し進め、学力の向上と生徒同士をつなぐことを大切にし、授業が楽しい、教室が楽しいと感じる生徒を増やしたいと考えています。また、生徒会活動や学校行事、部活動に積極的に取り組ませ、さらに元気あふれる学校を目指します。

一身田地域は、伝統的な行事や環濠清掃等のボランティア活動が盛んに行われています。本校生徒も生徒会や部活動を中心に参加し、地域の一員であるという自覚をさらに高めたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

フラワー研修に参加して

西平野区自治会長　中尾清章

5月29日(月)、地区社協主催フラワー委員会研修で、岐阜県可児市の花フェスタ記念公園と木曽三川公園を視察しました。

可児市花フェスタ記念公園は'95花フェスタぎふ」会場を整備し、平成8年オープンの都市公園です。広大な敷地に世界中から集められたバラ約5，000種は圧巻の一言、満開のばらに感動しました。

この敷地内には、「花のミュージアム」、大温室の「花の地球館」、「花のタワー館」、屋外イベントホールの「プリンセスホール雅」があります。

午後から訪れた木曽三川公園は日本一大きな公園です。展望台からは名古屋市内や岐阜市内まで一望できます。

花を見て怒る人は誰もいません。もっと、もっと美化運動にまい進しなければと思いました。

「地域と連携し、商店街の未来のビジョン作りを始める」

一身田商工振興会　会長　中川隆功

一身田商工振興会は㈱全国商店街支援センターの「トータルプラン作成支援事業」を受講する。

これは活性化に対しての方向性が定まっていない商店街が自ら課題解決に向けて計画づくりをするための、支援センターのサポート事業である。経済産業省より「はばたく商店街30選」に認定された一身田商工振興会ではありますが、一身田の商店街の店舗減少は確実に進んでおり、今、手を打たないと近い将来商店街としての基本的な機能自体を維持できない 危機的な状況にあります。

受講にあたっては、商工会メンバーのみならず、自治会連合会、婦人会、高田本山、百五銀行、高田短大、三重短大、行政など、地域の各機関にも加わっていただき、「一身田印事業」など、現在取り組み中の事業とも連携しながらトータルで街づくりに取り組んでいきます。

6月1日には第一回の会議が開催され、町の現状について様々な意見が取り交わされました。

商業の活性化について勉強会を開催

一小の花壇植え替え作業

一小フラワーボランティア　長谷川　富美代

5月20日、一身田地区フラワー推進委員会、教職員、民生委員・児童委の応援を得、総勢33名で夏の花を植える前の耕作をしました。

事前に園芸委員会の児童と私たちで掘り起こしておいたチューリップの球根の整理、そして、私たちだけではなかなか手に負えない増えすぎた水仙の球根の掘り起こし等をお手伝い頂きました。

毎回、軽トラックを貸して下さる方や、花壇に合うコンパクトな耕運機をご持参いただく方もあり、皆さま方のご協力に深く感謝しております。

5月27日に私たちで、6月12日に一小園芸委員の皆さんと花苗を植えて完成しました。

一小の花壇に花を植える児童とボランティアの皆さん

寄稿

江戸時代に一身田にラクダがやってきた！

一身田町在住　長谷川哲也

今から約200年前の文政10年(1827年)一身田にラクダがやって来たという記述が、「河芸町郷土史」(昭和53年河芸町教育委員会発行)に載っている。

一身田は、昭和の大合併で津市に編入される前は河芸郡一身田町と称した。このため、先述の書籍や「河芸郡史」(大正7年河芸郡史編纂会発行)の中に一身田のことが、結構紙面をさいて記載されている。

このラクダはペルシャ産まれのオスとメスの2頭で文政4年(1821年)、オランダ人が長崎に連れて来ており、翌々年の夏頃から見世物にするため、京阪地方から江戸にかけて巡業していた。津にも来ていた。

このことを伝え聞いた高田本山第19世円詳上人は、一身田に立ち寄るように言われた。

そこで、先約の神戸(鈴鹿市)を済ませた後、伊勢街道を南下し、伊勢上野宿を通って一身田へ向かった。文政10年二月のことである。

行程は、小川から高佐方面へ、そこから丘陵づたいの道で田端の集落をぬけてきたものと考えられる。

他にも町屋から志登茂川を渡河して平野の集落を通ってくるコース、江戸橋まで来て、伊勢別街道に入り、中野・大古曽を通ってくるコースなどがあるが、これらの道ではかなり遠回りになる(この当時、津関線や高田本山駅前から栄町へぬける道は未だ存在していない)。

寺内町では、沿道に集まったマゲをつけた人々が見守る中、未舗装の寺町通りを悠々と歩いて、専修寺山門へ向かったラクダの姿が想像される。

専修寺では、紅葉堂(もみじどう)が同年正月二十日に落成していた。そこで、集まっていた経石をラクダの背に乗せて、御堂から紅葉堂まで運ばせ、傍らに埋めたとされている。

紅葉堂（もみじどう）
1827年建てられた小堂。庭園に紅葉が多かったのでその名が付けられた。

高齢者の運転免許証の自主返納について

民生委員　児童委員協議会　会長　福田勝二

最近、高齢者による交通事故が数多く報道され、一方では運転免許証の自主返納が話題になっています。一身田地区でも運転免許証の自主返納を考えている方がお見えになることでしょう。

しかし、返納後の交通手段を考えると躊躇してしまうのが実状ではないでしょうか。そこで、運転免許証の返納に伴ういくつかの特典についてご紹介します。

まず、返納すると、「写真付き運転経歴証明書」が警察署より発行されます、これは運転免許証同様に、身分証明書にもなります。また、今年3月1日より三重交通グループの乗合バス路線では、返納者本人と、ご家族・友人等の同伴者1名が、運賃支払時に運転経歴証明書を提示すれば半額で乗車出来ます。さらに、津市在住の方は、タカモリタクシー・久居交通・椋本中川タクシー・の3社のタクシーを1割引きで利用することができます。(65才以上で事前の登録が必要)。自宅まで迎えに来てもらえるタクシーで出掛けられてはいかが？！

各家庭の郵便箱を木製に替えてみるのはどうでしょうか？ご家庭で話し合っていただければ幸いです。

さらに、今年度より無住の家屋が撤去指示対象物件と認定されますと、所有者には更なる税が課せられるようになりました。もちろん市の調査後に認定されるので、現時点ではありませんが、お知りおきください。

一方、新築の届け出が該当する地区内に数件あるとの報告をいただきました。よい所がいっぱいある一身田だと考えて、ツイの住まいを望まれるというのは、我々一身田に住む者にとってうれしいことではありませんか？

今後も寺内町の整備やもちろん、住みよい街づくりにむけ、一層のご協力をお願いします。

「平成29年度の活動方針」

一身田スポーツ少年団　団長　小澤康孝

一身田スポーツ少年団は昭和41年4月に日本体育協会からスポーツ少年団の認定を受けて誕生し、今年で創立52年目を迎えました。

現在、一身田小学校や栗真小学校の1年生から6年生の男女13名が身田小学校の南グランドで練習を行っていますので見学や体験にお越しください。一身田スポ少の概要や活動内容は、一身田スポーツ少年団のホームページからご覧ください。

今年の一身田地区の行事では、7月のグランドゴルフ大会、8月の盆踊り大会、9月の町民大運動会、来年1月の親子凧作り、2月の凧揚げ大会などへ参加、お手伝いさせていただく予定です。

最後に一身田スポーツ少年団では小学1～5年生の団員(女の子もOK)を募集しています。初めてソフトボールをする子どもさんも基礎から親切・丁寧に指導させていただきます。土曜日は午前中、日曜日は終日、一身田小学校の南グランドで練習を行っています。

ソフトボールや駅伝大会、ドッヂボール大会、津シティマラソンなどのスポーツ活動を行っています。

寺内町整備推進委員会からの報告

会長　中西　万喜夫

市長との地域懇談会で、毛無川の水質浄化にむけ要望を行いました。具体的には、夏季になると大沢池に繁茂するヒシの軽減あるいは絶滅対策で、現在すでに進められていることを確認しました。今後に期待したいところです。

また、景観重点地区補助金制度に基づく取り組みが、市内トップで実行されています。

今、町中の所々に消火器の赤いボックスが、渋い木製の箱に替わっています。また、更なる取り組みの一つとして、